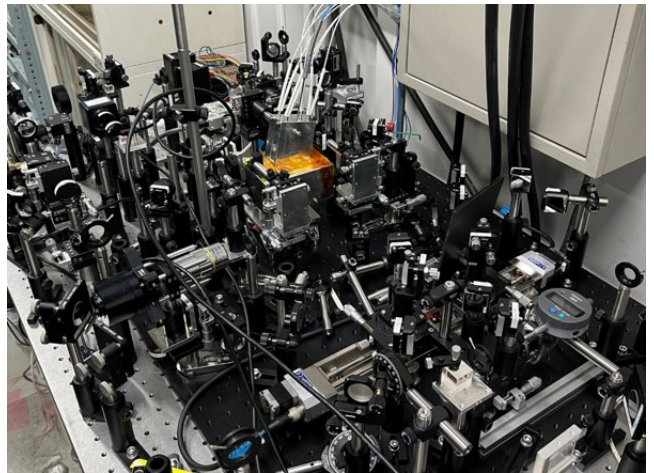


量子シグナルに作用するアンプの開発を目指して

19世紀から20世紀にかけてのエレクトロニクス、フォトニクスの発展はオペアンプ、レーザー等の各種シグナルアンプ技術によって実現されました。現代社会では、光と物質の量子状態を精密に制御、利用する技術が開発されていますが、量子シグナルに作用するアンプは未開発です。当研究室ではこれを実現するための基礎研究を行っています（写真は、実験装置の一例です）。



キーワード レーザー、量子もつれ、冷却原子

分野 量子制御、原子分子光科学、量子光学